



小学校 6年()組 ()番 名前()

6年生で身につけておいてほしい力とすがた

学校教育目標や育成したい資質・能力を踏まえ、6年生の目指す姿を配付前に教職員が記入しましょう。6年生がイメージできるような具体的な姿で示すことがポイントです。配付時には、教職員の思いを児童に説明しましょう。

卒業するときこんな自分になりたい

今年度末の自己の目指す姿を児童自身に設定させます。「〇〇の場面で〇〇ができるようになる。」といった具体的な姿や態度で設定させてください。

好きなこと・今夢中になっていること

児童が自分自身が好きなこと、今夢中になっていることを自由に書く欄です。好きなことや夢中になっていることは、将来の希望や夢をもつことにつながります。

また、好きなこと、今夢中になっていることを考えることは、「広島県の15歳の生徒に身につけておいてもらいたい力」である「自己を認識する力」にもつながります。児童が書いたことを肯定的に受けとめ、認め励ます声掛けをお願いします。



1学期

1学期が終わったときこんな自分になりたい

今年度末の自己の目指す姿を踏まえて、自らの目指す姿を設定させてください。目指す姿が書けない児童は、頑張ることを書かせてもよいです。

なりたい自分にどれだけ近づけたか、ふり返りましょう
(学習面)

これまでの授業や学校行事の記録、上記の「なりたい」姿などを基に記入させます。「なりたい自分にどれだけ近づけたか」という視点が難しい児童は、第4学年のシートと同様に、学期の振り返りを考えるように、と声掛けをしましょう。「できた・できていない」だけでなく、できるようになるために行動した自分にも気付かせることが何よりも大切です。できるようになっていなくても、そこに向けて力を注いだことがあることを伝え、「〇〇を続けた」など児童の努力を自覚できるようにし、頑張りを認めることとして、肯定的に捉えられるよう支援をしましょう。

先生からのメッセージ

先生や家の人から児童の頑張りができるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らのよさや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めたりすることにつながります。十分に振り返りが書けなかった児童に対しては、児童自身が自覚できなかったよさや可能性などをメッセージとして送ることで、将来、自分の成長を振り返ることができます。

2学期

2学期が終わったときこんな自分になりたい

前の学期と内容が同じになる児童もいます。頑張りを認めることとして認め、無理に変更させることがないようにしましょう。

なりたい自分にどれだけ近づけたか、ふり返りましょう
(学習面)

(生活: そうじの時間, 係活動, クラブ活動, 学校行事など)

(家庭や地いき)

先生からのメッセージ

3学期

3学期が終わったときこんな自分になりたい

なりたい自分にどれだけ近づけたか、ふり返りましょう
(学習面)

(生活: そうじの時間, 係活動, クラブ活動, 学校行事など)

(家庭や地いき)

中学校生活に向けて、先生からのメッセージ

1年間をふり返って、最高学年としてがんばったことやみんなのためにしたこと、成長したと思うこと

どんな些細なことでもよいです。自分の成長を気付かせてください。学級活動等で、他者からの評価をもらうことも有効です。これまでの学年と比較し、自分の成長を振り返ることで、この1年間の成長を実感させることも考えられます。

小学校生活をふり返って
(成長したと感じたことやそのきっかけ)

「キャリア・ログ」やその他の資料で振り返ることで、成長を実感させるようにします。

しょう来は、こんな大人になりたい

頑張ったことや自分のよいところを振り返った上で、将来なりたい自分について、じっくり考えさせることが大切です。また、なりたい大人像や就きたい仕事を考え、それと日々の生活を結び付けることも重要です。児童の記述が不十分と感じた場合、記述内容を認めた上で「そう思った理由やきっかけ」を考えさせ、記述させましょう。

家の人などからのメッセージ